

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月28日			記入者	内線 3812
部 名	消防本部	課 名	警防課	課長名	前田清治
事務事業名	消防水利整備事業				
予算上の事務事業名	消防水利整備費				
1 総合計画における位置づけ				施策コード	23130
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	消防法、消防水利の基準等				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	相模原市消防力整備計画			防火水槽(耐震性貯水槽)新設工事、消火栓新增設工事	
計画年次	平成12	年度～	平成22	年度	
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
安全に暮らせる都市づくりのため、消防力の整備に努め、消防水利の新設工事を実施する。中でも耐震性貯水槽は従来の防火水槽に比べ耐震性に優れ、大規模地震が発生し、多くの消火栓が使用できなくなる事態となっても消防水利として十分な機能を果たすため、積極的に設置を推進する。また、従来通り消火栓の整備も進め、火災等の災害に備えるものとする。一方、消防水利が十分整備された地域において、老朽化した防火水槽は、危険性も考慮して、市民の要請に応え、随時解体する。				市民	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
1 防火水槽(耐震性貯水槽)の新設 1基(桑の実公園隣接地) 2 消火栓新增設 新設36基 増設3基 3 防火水槽の解体 8基					
6 関連・類似事業や他市の状況	他市町村においても本市と同様の事業を実施している。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	69,639	25,968	25,737	30,861	24,500
一般財源	41,116	16,481	14,319	17,825	18,000
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	28,523	9,487	11,418	13,036	6,500
人件費の合計	8,390	8,010	8,007	8,007	8,007
事業コスト合計(a)	78,029	33,978	33,744	38,868	32,507
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	防火水槽(耐震性貯水槽)新設工事・消火栓新增設工事			対象名称(単位)	設置数(基)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	51,724	20,009	16,627	25,061	19,000
対象数	89	65	40	29	29
単位あたり経費(円)	581,169	307,831	415,675	864,172	655,172
前年度比		0.53	1.35	2.08	0.76

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	指標式と指標の説明		消防水利設置数 / 消防水利設置目標数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	89.0	65.0	40.0		
目標	112.0	112.0	112.0	112.0	112.0
目標達成度	0.79	0.58	0.36		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	指標式と指標の説明		不延焼火災 / 火災発生件数 * 100 火災を延焼させない割合		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	255.0	233.0	218.0		
目標	272.0	253.0	234.0	234.0	234.0
目標達成度	93.8	92.1	93.2		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[]：良好な状態を維持する事業			
	[]：概ね良好な状況である事業			
	[]：見直しを行う必要がある事業			
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		予算上の問題もあり、消防水利の設置は年々減少傾向にある。しかし、消防水利は消火栓に偏ることなく整備を進めていかなければならず、中でも大規模地震の発生が懸念される今日において、耐震性貯水槽の整備は今後もさらに積極的に進めていかなければならない事業である。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 限られた予算の中で、今後も効率的な消防水利整備を進めるため、防火水槽整備方針等の消防水利整備に関する計画の見直しを図る。			14 課題として認識されたこと 今後も整備が必要な地域を重点に、消防水利を積極的に設置していく。また、危険性を考慮し、可能な限り、老朽化した防火水槽は解体していく。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		計画的な整備に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			